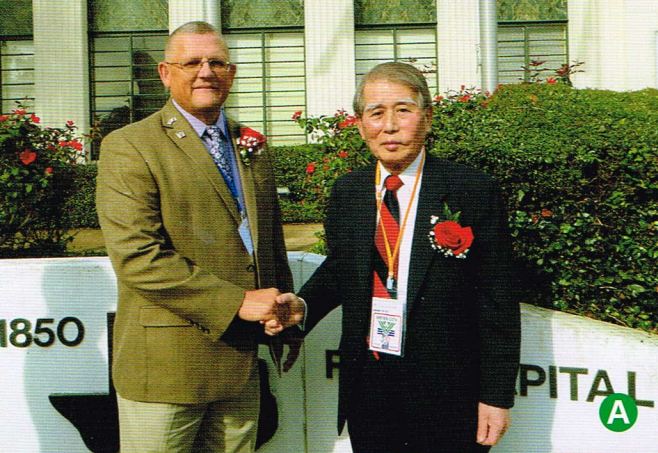




■ 八千代市国際交流協会ニュース

くりっピー 《cliP》

第15号

■発行日／2019年12月15日 ■発行・編集／八千代市国際交流協会（事務局／〒276-0027八千代市村上団地2-9-103 八千代市多文化交流センター内）TEL・FAX 047-752-0593 メール：yia2006@world.zaq.jp 勤務日／火曜日・木曜日午前8時30分～午後3時30分 印刷／金子印刷企画





有意義で楽しい姉妹都市交流に 教育委員会から3人の職員も一緒に

今回の親善訪問は11回目。親善訪問団として12人のほか、3人の八千代市教育委員会職員が加わり、合計15人の訪問団となりました。これはALT担当のテレサ・ケネディー教授（テキサス大学タイラー校）が米国国務省に対し補助金を申請し、教育委員会職員をお招きくださったものです。今回もタイラー市民の皆様いろいろな催し物を用意していただき、有意義で楽しい交流となりました。2019年親善訪問団の団長を務められた小林公孝氏のご報告します。なお、米国視察旅行中の茂呂剛・千葉県議会議員一行7人も17日だけ加わっております。

空港へはタイラー姉妹都市委員会副会長の ブレント・ペンバートン氏らが出迎え

1日目の10月16日(水)、予定通りダラス・フォートワース空港に到着しました。入国審査に時間がかかりましたが、タイラー姉妹都市委員会の副会長ブレント・ペンバートン氏ほか6人の出迎えを受けました。午前9時に専用バスにタイラー市の人たちも同乗し、空港を出発。途中、ストックヤード、樹木園・植物園を見学、メキシコ・レストランで昼食等、寄り道をして夕方、タイラー市に到着しました。

夕食には郊外のカフェテリアで、マーチン・ハインズタイラー市長、タイラー姉妹都市委員会会長のラス・ジャクソン氏等タイラー市幹部の人たちも合流し、主だった人のご紹介とこれからのスケジュールの打ち合わせを行いました。

タイラー市長がビデオでごあいさつ。終了後、 歓迎カクテルパーティーで交流を深めました

2日目の10月17日(木)9時にタイラー市役所を訪問。タイラー市議会議員をはじめ、職員等大勢の人たちが市役所入口の階段約30メートルの両サイドに並び、全員が日章旗と米国旗を振りながら握手で出迎えてくれました。市役所内の議事堂での歓迎セレモニーには、ハインズ市長が所要で参加できなくなり、ビデオで歓迎のごあ

いさつになりました。市長代理としてのあいさつは、2年前団長として八千代市を訪問したドン・ワレン氏が行ないました。続いて服部市長が表敬訪問のごあいさつ。タイラー姉妹都市委員会会長のラス・ジャクソン氏が歓迎のあいさつを、続いて私、小林があいさつを行い、最後に記念品の贈呈をそれぞれ行ないました。

公式なあいさつ終了後、別室に移り歓迎のカクテルパーティーが開催され、訪問団も全員が参加し、タイラー市の人たちと和やかな会話の場となり、交流を深めることができました。

T J Cでは主に看護学部を見学。貴重な質問 を日本人留学生にすることが出来ました

11時30分に専用バスでタイラー・ジュニア・カレッジ(T J C)へ着くと、学長のジュアン・E・メジア氏が出迎え、学長の歓迎あいさつ後、訪問団は二手に分かれて校内見学を行ないました。

T J Cは1926年に設立された公立短期大学で、現在学生は約12,000人が在学。今回は、主に看護学部を見学。実物にそっくりなモデル人形には驚きました。案内された所は、歯科看護、理学療法士の授業、作業療法士の授業、顕微鏡の実習授業等でした。見学後、ランチにご招待され、日本からの女子留学生3人もランチに合流したので、アメリカ留学に関するいろいろな点を質問することができました。特に、アメリカの学校生活、奨学金制



▲タイラー市役所前でドン・ワレン氏（市議会議員・市長代理）らと記念撮影



ローズ・ガーデンで開かれた「クイーンズ・ティー」。ローズ・クイーンなどに会えるチャンス▲

度、授業料、寮費の補助、将来の職業等、ある程度学校の中を知ることができ、大変勉強になりました。

U T Tは電動カートで案内。茂呂県議視察の ごみ処理施設は大変参考に

午後1時専用バスで州立テキサス大学タイラー校（U T T）へ。U T Tは5つの学部からなる総合大学です。約7,000人の学生が在学しているとのことでした。ケネディ教授の案内により、広大な大学構内を学生さんたちが3～4台の電動カートで案内をし、大学の歴史や学部等の内容を説明してくださいました。今年のノーベル化学賞部門で、テキサス大学オースティン校のジョン・B・グッドイナム教授のことを大変誇りに思うと話していただきました。

また、訪問団がU T Tを訪問中、茂呂剛・千葉県議会議員、澤田新一・八千代市議会議員、木田敏克氏の3人は、姉妹都市委員会会長のラス・ジャクソン氏のご案内で、タイラー市のごみ処理施設の見学を行ないました。八千代市に比べて処理施設が大規模であり、これからのごみ行政に大変参考になったとのことでした。

ゴルフ場で歓迎夕食会を開催。宴会の途中、 誕生日の鈴木さんには歌のプレゼントが

親善訪問団は、午後6時からイーグル・ブルッフ・カントリークラブで開催された歓迎夕食会にご招待されました。窓から見る景色は大変素晴らしく、一度プレーしたくなるようなゴルフコースでした。

会場には、素晴らしいお酒とお料理が並んでおりました。ゴルフ場でこれだけの準備をしてくださり、私たちをご招待してくれたことに大変感激いたしました。宴会の途中から、4人のコーラスグループによる素晴らしいハーモニーを聴くことが出来ました。この日は丁度、鈴木優亜さんの誕生日。コーラスグループから祝福のハーピーバースデ이의歌がプレゼントされました。

18日はローズクイーン戴冠式とクイーンズ・ ティーを見学、19日にはパレードを見学

3日目の10月18日（金）午後2時、ローズクイーン戴冠式を見学しました。戴冠式はローズ・フェスティバル・パレードの前夜祭として行われ、ローズクイーン候補の美しい女性たちが豪華絢爛な衣装で、次々に舞台に登場し自己PRを行ないました。

4日目の10月19日（土）午前9時、ローズ・フェスティバル・パレードを見学。パレードはアメリカ合衆国国旗、テキサス州旗、マーチングバンド、地元の学生たち、地元名士のオープンカーパレード等が行進しました。

午後5時30分、画家のフロッサード邸にご招待され、参加者が料理を持ち寄り、いわゆるボンボンパーティーで楽しい一時を過ごしました。家の前に大きな湖があり、その広さに皆さんびっくりしたようです。

さよならパーティーではサプライズあり、 丸岡万莉さんの日舞ありの楽しい日でした

5日目の10月20日（日）、午前10時から午後4時まで、4か所に分かれてホームビジットを実施。午後6時からは「さよならパーティー」が開催され、サプライズはフォークダンス愛好家の20人ほどの人たちが突然来場、約30分間フォークダンスを踊られたことでした。私たちもフォークダンスの中に引っ張り込まれ一緒に踊りました。丸岡万莉さんが浴衣姿で日本舞踊を踊られ、タイラーの人たちから拍手喝采を受けておりました。パーティーも終盤、日本から持参した日本酒大吟醸『八千代桜』をタイラーの皆さんで試飲。あっと言う間になくなってしまいました。最後に林隆文・八千代市議会議員がスピーチを行い、2021年に八千代市にご招待したい旨を宣言しました。（国際姉妹都市部会／小林公孝）

《日程概要について》

- 10月16日（水）／専用バスにてタイラー市へ
- 10月17日（木）／市長表敬訪問／T J C訪問／U T T訪問／歓迎夕食会
- 10月18日（金）／タイラー商工会議所で昼食／ローズクイーン戴冠式見学／カントリー・ターバンで夕食／ロデオ見学
- 10月19日（土）／ローズ・フェスティバル・パレード見学／クイーンズティー見学／フロッサード邸でボンボンパーティー
- 10月20日（日）／ホームビジット／さよならパーティー

《訪問を終えて》

第11回八千代市親善訪問団

団長 小 林 公 孝



今年は米国タイラー市と八千代市が姉妹都市提携を結んでから27年目になります。今回からタイラー市の姉妹都市委員会の役員は大幅に入れ替わっていましたが、私どもに対する対応は前回と変わらず、非常にきめ細やかで温かい「おもてなし」をしていただきました。今回は女子高校生と女子大学生の2人の学生が親善訪問団の一員として参加されましたが、国際交流を直接体験できたのではないかと考えております。国際交流の意義は、市民の相互派遣、文化、教育、経済等の多面的な交流の推進、そして21世紀の国際化時代に向け交流活動を活性化させる必要があります。姉妹都市タイラー市とは、更に友好の輪を広げたいと考えております。

《姉妹都市交流写真展を開催予定》

2019年10月16日から21日まで行なわれたタイラー市との姉妹都市交流写真展を2020年1月15日（水）から1月17日（金）まで、勝田台駅のステーション・ギャラリーで行います。時間は初日10時から18時、2日目9時から18時まで、最終日9時から17時までです。

写真で見る 姉妹都市交流 2019

タイラー市で今年度行なわれた姉妹都市交流を写真で振り返って見ましょう。参加した皆さんは次の方々です。

服部友則・林隆文・花島美記・河原浩樹・小林公孝・金井一夫・伊藤尊介・長尾みち子・國東一明・野神誠一郎・鈴木優亜・丸岡万莉(順不同・敬称略)



▲顕微鏡をのぞきこむ國東さん

▼実物そっくりの人形にビックリ



▲TJCでおいしいランチをごちそうに



▲大勢のタイラー市職員等が日米の小国旗を持って出迎え



▲あいさつをする市長代理のドン・ワレン氏



▲表敬訪問であいさつをする服部市長



▲UTTで案内してくださったケネディ教授(左から3番目)と記念撮影



▲ラス・ジャクソン会長から記念品をいただく小林公孝会長



▲警察署長とタイラー市旗を囲んで記念撮影

▼TJCのジュアン・E・メジア学長夫妻らを交え記念撮影



▲UTT内は電動カートで案内をしてくださいました



◀UTTを案内してくださった職員らと記念撮影

■ 2019年度の収支予算は次のとおりです。

【収入】 1. 会費 - 430,000 2. 補助金 - 1,187,000 3. 繰越金 42,465 4. 雑収入 - 94,535 合計 1,754,000

【支出】 事業費 / 1. インターナショナルデー - 285,000 3. 広報事業 - 218,000 4. 部会事業費 - (1) 国際姉妹都市部会 - 146,000 (2) 語学ボランティア部会 - 72,000 (3) 日

本語ボランティア部会 - 220,000 (4) 国際交流促進部会 - 60,000 (5) 各部推進業務 - 344,000 事務費 / 1. 賃金 - 160,000 2. 需用費 - 55,000 3. 役務費 - 145,000 4. 負担金 - 10,000 予備費 / 39,000 合計 1,754,000 (単位: 円) 《事務局》



▲服部市長とワレン市長代理で「これからよろしく」と乾杯
▲鈴木さんの誕生日プレゼントはコーラスグループの歌で



▲クィーンズ・ティーはすぐそばでクィーンのお顔が見られます



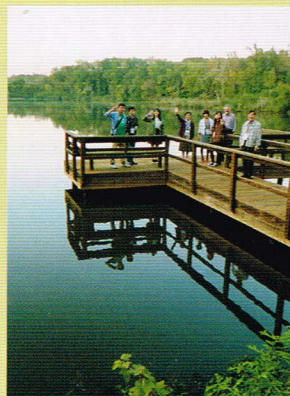
▲ドン・ワレンご夫妻もパレードに参加



▲タイラーの人たちとロデオ見学をしました



▲最後の日、丸田さんが日舞を踊り大きな拍手が



▲フロッサード邸の前は大きな湖でした



▲夕食をごちそうになったフロッサード邸で記念撮影



▲さよならパーティーでフォークダンス同好会と一緒にダンスを踊りました



▲ホスト・ファミリーを引受けてくれたロイ・マルチネス氏と小林会長は「お世話になりました」と乾杯

▶一昨年の八千代での思い出を花島さん、長尾さんと話す
グレン・パン・ダイクご夫妻



■ A L T の皆さん、八千代市へようこそ

若いころから日本に強い興味とあこがれが
グレイス・チョーカーさん (テキサス大学)

若いころから日本に強い興味とあこがれを抱き、友だちと一緒に日本の番組を見たり、ゲームをしているうちに日本のことをもっと知りたいと思うようになりました。大学最初の年に日本語授業を受講。日本語を勉強したいという気持ちから2016年から2017年にかけて日本に留学し、日本人に英語を教えることにより掛け替えのない経験をしました。一番の経験は米国で教えた生徒と一緒に18日間、日本を勉強するため日本を訪問したこと。米国に戻り、日本を訪れたいと思う人たちのために自分たちの経験を伝えたいという気持ちが高まったのは言うまでもありません。ALTとして重要なことは、日本人生徒の英語の学び方をより良くするために同僚と協力することです。八千代市との交流機会を通しテキサス州と日本の関係を深めるだけでなく、同僚や生徒、地域社会に英語学習により興味をもってもらうために良い印象を残したいと思っています。(国際姉妹都市部会)



■ 2019年度の八千代市国際交流協会役員・

会員数は次のとおりです

□名誉会長／八千代市長・服部友則、前八千代市国際交流協会会長・周郷紀男 □相談役／八千代市議会議員・山口勇 □会長／小林公孝 □副会長／江川典一・喜田茂・鈴木康彦 □会計／藤江潔・嶋野勝美 □理事／小川剛毅・高橋雅昭・廣田敬治・鎌田久美子・高野多美子・柴田ひさ・花島美記 □監事／川島慎一・中嶋功《順不同・敬称略》

□個人会員／149人 □家族会員／17家族 □団体会員16団体 (明るい社会づくり八千代市推進委員会・八千代市医師会・八千代市管工事共同組合・八千代市芸術文化協会・八千代市社会福祉協議会・八千代商工会議所・八千代青年会議所・八千代市農業協同組合・八千代東ライオンズクラブ・ボーイスカウト八千代地区協議会・八千代市薬剤師会・八千代交通安全協会・八千代ライオンズクラブ・八千代ロータリークラブ・八千代バンコク交流の会・八千代少年少女合唱団)《順不同・敬称略》 ※2019年12月1日現在

■ 小・中学生外国人24人が参加

第13回目を迎えた「夏休みこども日本語教室in八千代2019」は、2019年8月3日（土）に八千代市郷土博物館で開催されました。参加者は市内の小・中学生24人と親や支援するボランティアなど47人。フィリピン、ペルー、ブラジル、中国、スリランカの5か国の子どもたちで、中国人が最も多く12人でした。今回は「ジャンボ習字に挑戦！」。書家の渡部桂弦先生にご協力を依頼。日本生まれの児童や来日したばかりの児童生徒もおり、作品に書く文字や言葉選びは、「例」やヒントをもらいながら決めていたようで、中でも上級者は俳句にも挑戦。落款印を消しゴムで作し、各自思い思いの文字を書き、「印」を押します。最後はグループ作品で、一人1文字を書くために全体のバランスが難しかったようです。個人作品とグループ作品を仕上げて皆さん、満足そうでした。（日本語ボランティア部会／長谷川安記子）



▲練習は先生と一緒に新聞紙で



▲本番は「ジャンボ習字」を楽しみました

▼最後は参加者の皆さんで記念撮影をしました



■ 第14回八千代インターナショナルデイを開催

市民と市内在住の外国人の相互理解を図る第14回八千代インターナショナルデイが2019年9月7日（土）フルガーデン・八千代噴水広場で開催されました。

舞台では八千代高校・鼓組の若さあふれるパワフルな演奏で幕を開けました。秀明大学のベトナム人・ネパール人留学生が民族衣装で自国の歌と踊りを披露し、ハイレベルな日本語で母国の紹介をしました。またラテン・バリエダの音楽に合わせて来場者がダンスを踊り、留学生も会員にリードされ、踊る留学生と来場者との楽しい交流のひとつとなったようです。ビッグバンド・ビーグルはジャズの名曲を演奏し、聴いていた皆さんは懐かしい曲にうっとりしていました。出演者、来場者、スタッフが協力し、光輝く一日になりました。今年も「東あられ本舗」から茶菓のご提供があり、深く感謝いたします。（語学ボランティア部会／宮近千世子）



▲鼓組と「子どもたちの演奏」場面では今年も数多くの子どもたちと保護者が参加

▼秀明大学ベトナム人留学生の皆さんは立派な日本語で自国を紹介しました



▲リズムカルな演奏で会場からはダンスを踊る人たちが登場。演奏はラテン・バリエダ

▼懐かしい曲を次々と演奏。2回目の出演となったビッグバンド・ビーグル



■ 国際ハロウィンパーティー賑やかに開催

恒例の「国際ハロウィンパーティー2019」が2019年10月26日（土）に、ユアエルム八千代台店・エルムスペースで子どもたち約150人、同伴者を含めて約300人の方々が集まり、服部友則・八千代市長、ナイジェリアやウガンダの方たちも参加して、賑やかに開催されました。

風船モンスターの作成、ユアエルム八千代台店内パレードでは11の店舗で「トリック・オア・トリック」と言ってたくさんのお菓子をもらい、サイコロ転がしゲームダンスと楽しいパーティーを開くことができました。今年もユアエルム八千代台店とテナント各店にご協賛を

いただいたほか、オーエンス八千代市民ギャラリー、八千代リーダーズクラブと八千代ダンシングマスタード、コーシン乳業の協力で無事終了いたしました。（国際交流促進部会／鈴木康彦）

▼服部市長さんも子どもたちと記念撮影で参加



▼グループに分かれ店内パレード



スピーチ大会は9か国10人が参加

恒例の第13回八千代市日本語スピーチ大会が2019年11月23日（土・祝）午後、八千代市との共催により八千代市八千代台東南公共センターで行なわれました。この大会は日ごろの学習成果を発表する場となっており、発表者それぞれのレベルでスピーチをしますが、今回は特にレベルの高い大会に。9か国10人がスピーチをし、審査の結果、台湾出身のトン・ヨレイさんが「お茶！ここが違う」の演題で会長賞を受賞。服部市長も来場され、ごあいさつの後、発表者と共に記念撮影。懇親会等では、

八千代リーダーズクラブの方々に場を盛り上げていただき、これまでと違う楽しい雰囲気の大会となりました。総参加者は78人。（日本語ボランティア部会／江川典一）



▲服部友則・八千代市長、小林会長と一緒に発表者と記念撮影



▲会長賞を受賞した台湾出身のトン・ヨレイさんと小林会長

姉妹都市の写真展とワガン三兄弟の演奏

市民活動団体フェスティバル2019は、2019年11月3日（日）午前10時からフルガーデン八千代噴水広場で開催。今回は10月24日に帰国したばかりの姉妹都市親善訪問を写真での報告。また、国際色を出すため西アフリカ・セネガルのパーカッションの名演奏者・ワガン三兄弟を招き、演奏を披露。また市内在住72か国約5,600人の外国人をクイズ形式によりPRしました。（国際交流促進部会／鈴木康彦）



▲クイズではセネガルの子どもも参加

▲協会提供のワガン三兄弟の演奏が終わると子どもたちも参加

質疑応答を日英両語で楽しみました



「英語で聴く講演会」が2019年10月26日（土）午後2時から日本在住12年の米国人、デイビッド・アグエロ氏が「外国人―日本とアメリカの生活の比較と対比」を

テーマに英語で講演。第二言語取得を専門とする講師の話は、パワーポイントを効果的に使いながら、分かりやすく考えるヒントを与えたので、日ごろの疑問解明の手助けになったという感想がありました。60人余り参加者は質疑応答を日英両語で楽しみ、日常接する英語へまた一歩近づいた実感を得ました。市民の英語に対する関心と興味が拡がり、出席者の年毎の意欲的参加で雰囲気が盛り上がりました。（語学ボランティア部会／柴田ひさ）

令和元年度八千代市表彰者について

八千代市篤行者として11月23日（土・祝）に小林公孝氏、河合晴子氏が表彰されました。おめでとうございます。

小林公孝（こばやし・きみたか）氏は、2006年4月から八千代市国際交流協会の国際姉妹都市部会で活動を開始されています。2006年、2008年、2012年、2015年、2019年10月の計5回、米国タイラー市への親善訪問団の派遣団員として参加。特に5回目は団長として参加しました。また、2007年、2010年、2013年、2014年、2017年のタイラー市の5回にわたる受け入れ事業では、2014年と2017年では受入実行委員長として活躍しています。2014年4月に国際姉妹都市部会長と理事に、2016年4月に本協会の会長にそれぞれ就任、現在に至っております。このほか2017年4月から八千代こども国際平和文化基金事業推進懇談会委員に就任、活躍されています。（国際姉妹都市部会）



河合晴子（かわい・せいこ）氏は、1994年10月、語学ボランティアと日本語ボランティアとして活動を開始されています。広島で行なわれた1995年のアジア大会への通訳ボランティアの参加から始まり、八千代市の国際交流活動で長年活躍されました。今年第14回を迎える「八千代インターナショナルデー」の実行委員として、また協会ニュース「くりっピー」編集委員として活躍されています。日本語ボランティア部会では、村上公民館で行なわれている日本語教室で現在も活動中。また今年第13回を迎える「八千代市日本語スピーチ大会」の参加者への指導等にも参加しています。2010年～2011年の2年間理事、2012年～2013年の2年間監事として活躍されました。（語学ボランティア部会）



組合員・地域の皆様から
信頼され、支持され、
必要とされ、愛される
JAづくりを目指します

JA 八千代市

八千代市大和田新田 640-1 TEL 047-450-3711 (代)

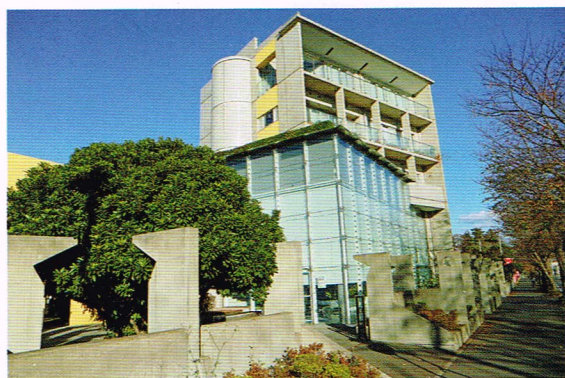
綺麗な印刷

●総合印刷 ●プリントマネジメント

金子印刷企画

KANEKO

八千代市萱田 410-1 047-450-9163



地域の発展と共に歩む

創業昭和2年 建設・設計・施工

と 周郷建設株式会社

会長・周郷紀男 代表取締役社長・周郷寿雄

八千代市大和田新田406/電話 047-450-3024(代)/ファックス 047-450-0576

株式会社
Yes! 川島不動産

なんでもご相談下さい

代表取締役

川島 慎一

Shinichi Kawashima

宅地建物取引士

不動産コンサルティング技能登録者

shinichi@kawashima-re.co.jp



株式会社 川島不動産

社団法人千葉県宅地建物取引業協会会員

千葉県知事免許(13)第3137号

東京海上日動火災保険代理店

〒276-0023

千葉県八千代市勝田台

2丁目1番地2 川島ビル1F

TEL:047-483-2652(代)

FAX:047-483-2168

<http://www.kawashima-re.co.jp/>

表紙写真は10月16日から10月21日までのタイラー市を親善訪問したときの写真です。④タイラー市役所前で固い握手をするタイラー姉妹都市委員会会長のラス・ジャクソン氏と小林公孝会長(10月17日) ⑤ドン・ワレン氏(市議会議員・市長代理)より服部友則・八千代市長に記念品が贈呈されました(10月17日) ⑥ローズガーデンで開催された「クイーンズ・ティー」で「ローズクイーン」と記念撮影をする鈴木さんと丸岡さん(10月19日) ⑦ホテルからタイラー市役所へ向かうバスの中で記念撮影(10月17日)